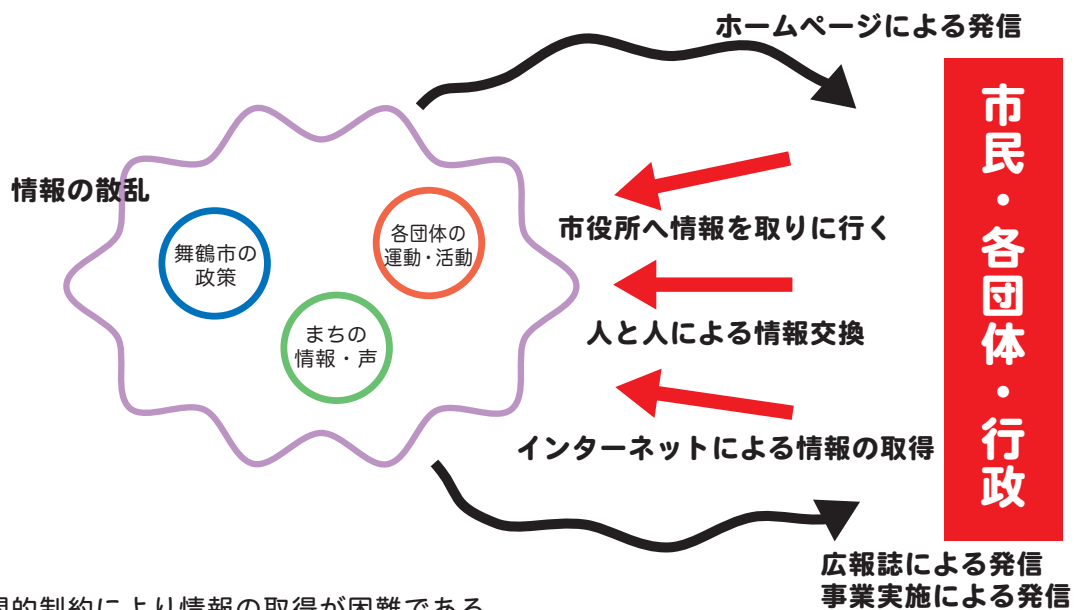


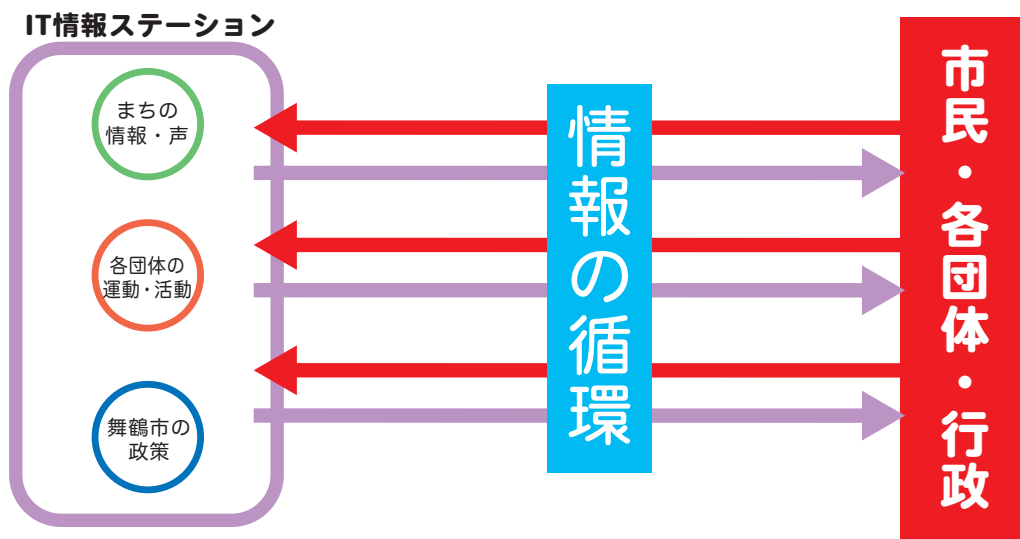
IT活用の推進

情報の流れ



- 時間的制約により情報の取得が困難である。
→ 限られた人材（人的資源）によるまちづくりになりうる。
- 情報の所在の認知度不足・分散
→ まちづくりに意欲のある人が情報をキャッチ出来ないまま機会を逃す。
- 情報の共有不足・温度差
→ 現在様々な形でまちづくりを個人・団体とされているが、それは舞鶴という大きなステージで捉えた時、効果的に共有されているのだろうか？

IT活用による情報の流れ



- **いつでもここに来れば舞鶴が解る！**
→ 無関心層が存在するのは、現状を認識出来ておらず問題意識が生まれてこないのが大半であると考える。
- **最新の情報が共有**
→ 情報というのは、動きがあって初めて情報であるのだと思う。
取ってもらえない情報×、情報を取りに行かない×
双方が情報を活かしていきたいという気持ちから動ける態勢が必要。

情報の受発信とは、インターネットをはじめ、広報誌（紙媒体）、人による多様性を持った活動が必要である。